

経営比較分析表（平成28年度決算）

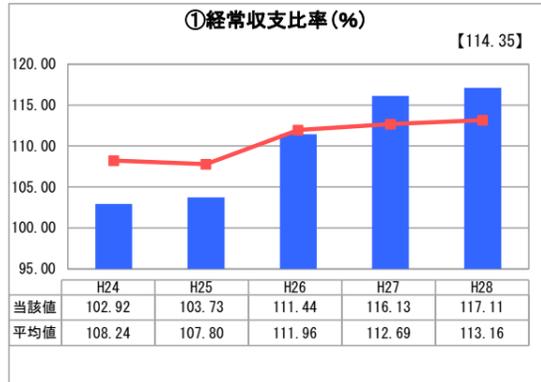
京都府 向日市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A4	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	67.15	100.00	3,348	

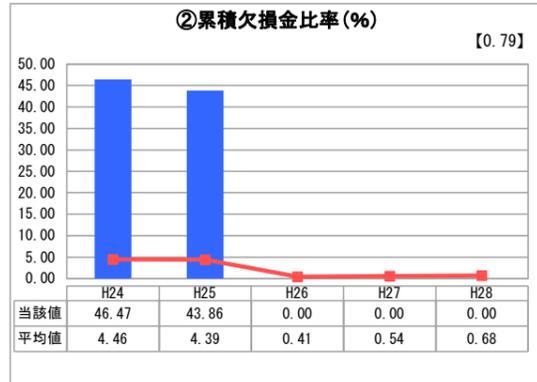
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
55,731	7.72	7,219.04
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
56,413	7.72	7,307.38

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	平成28年度全国平均

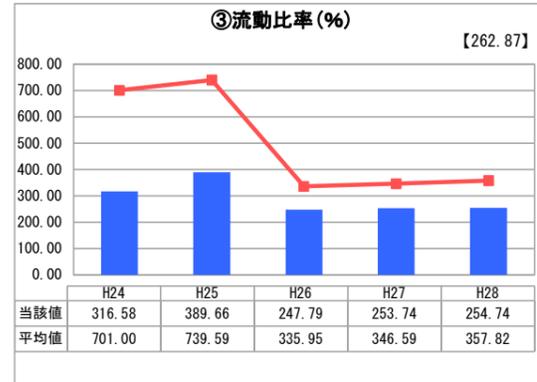
1. 経営の健全性・効率性



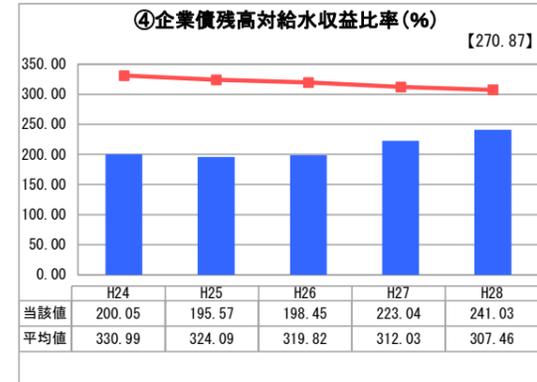
「経常損益」



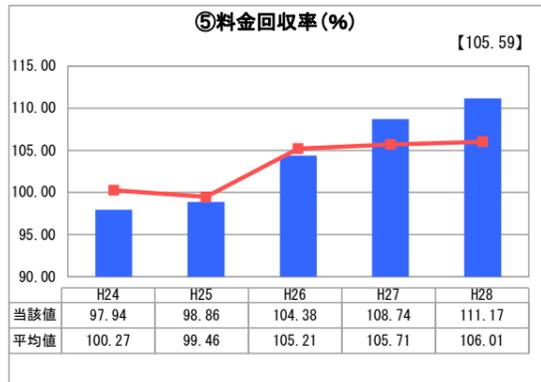
「累積欠損」



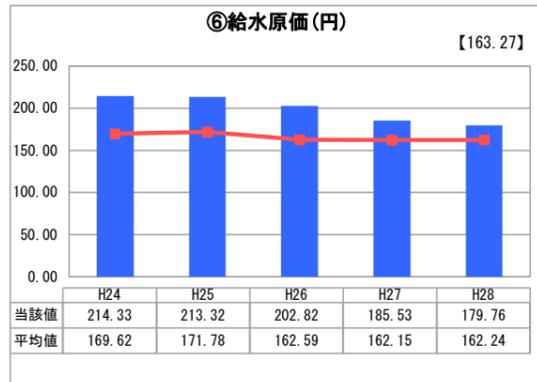
「支払能力」



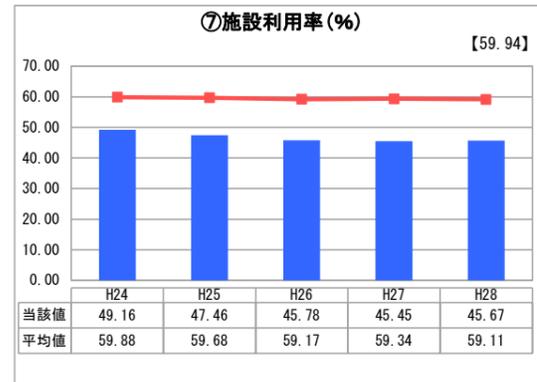
「債務残高」



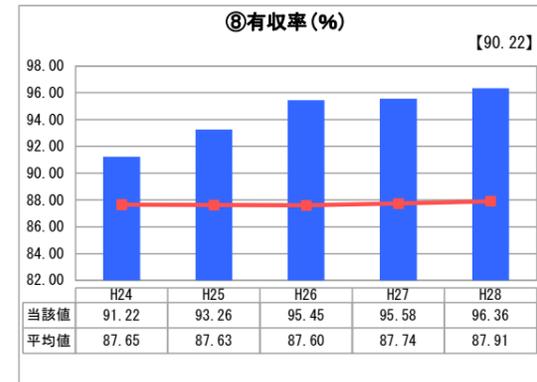
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

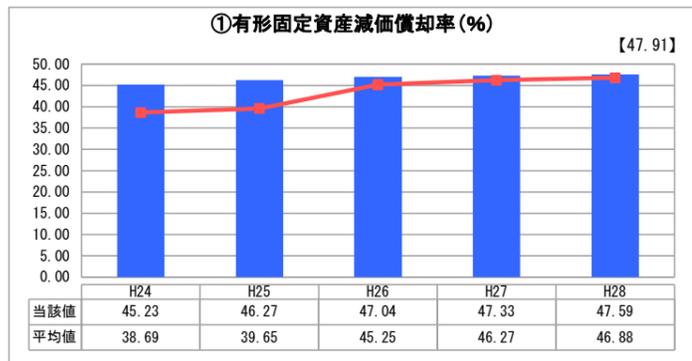


「施設の効率性」

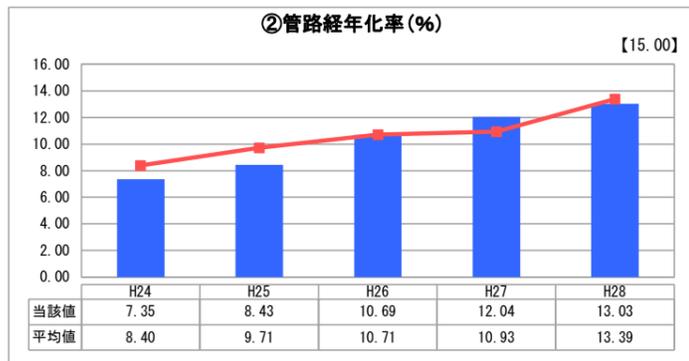


「供給した配水量の効率性」

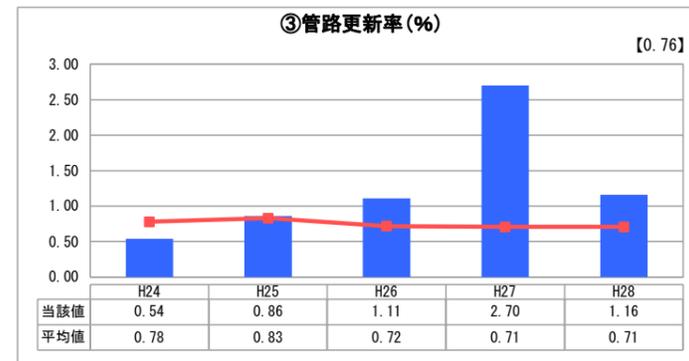
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ① 経常収支比率
近年100%以上で推移しており、望ましい状態といえますが、今後人口減少による給水収益の減少に伴い、数値の悪化が懸念されます。
- ② 累積欠損金比率
流動比率は依然として類似団体を下回っており、現金等の流動資産の保有が少ないことが要因として挙げられます。
- ③ 流動比率
類似団体より低いものの、今後も水道施設の耐震化を進めていくことにより、建設改良による企業債の発行額が増加し、数値の悪化が見込まれます。
- ④ 企業債残高対給水収益比率
経常収支比率と同様、100%以上で推移しており、現在の回収率を維持することが望ましいと考えています。
- ⑤ 料金回収率
京都府営水と自己水源の2水源を確保していることから、京都府営水の受水費に加え、自己水の浄水施設にかかる浄水費用、減価償却費により給水原価が高くなっています。

2. 老朽化の状況について

- ① 有形固定資産減価償却率
他市町よりやや高い率で推移していますが、概ね全国平均と同様であり、資産全体の半分程度償却が進んでいます。
- ② 管路経年化率
年々数値が悪化しており、法定耐用年数を経過した管路が増えてきています。なお、状態が良好で使用可能な管路は、法定耐用年数を経過した管路であっても、有効に活用しています。
- ③ 管路更新率
積極的に管路の更新を進めることで、類似団体を上回るペースで更新を進めています。

全体総括

今後もアセットマネジメントにより、管路更新を進めていくため、建設改良費の増加と、それに伴う企業債の増加が見込まれます。将来的な給水収益の減少が見込まれる中で、計画的な更新を行っていくため、中長期的な経営の基本計画である「経営戦略」策定に取り組んでいます。

※ 平成24年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路経年化率及び管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。